

平成19年度豊かなむらづくり全国表彰事業

農林水産大臣賞

農林漁業金融公庫近畿支店長賞

かなおか

金岡まちづくり推進協議会（大阪府堺市）



親と子の米づくりの刈取り作業

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

大阪府に隣接する地域で、都市化の進展と無秩序な開発による営農環境の悪化と耕作放棄地が増加する中、府営ため池改修事業を契機に7人の若手農業者が農空間を守り、次世代に引き継ぐことを目的とした「金岡まちづくりの会」を結成した。地域全体の理解なしには今後の発展が期待できないことから地元自治会や水利組合等関係組織に参加協力を呼びかけ「金岡まちづくり推進協議会」を平成13年に発足した。

（２）むらづくりの内容

農空間のプランニング

年々増加する耕作放棄地や無秩序な宅地開発等による営農環境の悪化から、緑豊かで心癒される農空間を守るため、地域の農空間のプランニングについて考える。地域に残る農地やため池を、地域の豊かさや、心の安らぎを感じる自然空間として、金岡地区の生活環境にとって重要なものとして保全しようと考え、ため池群の整備とその周囲に農地、市民農園を残し、美しく心安まる農空間を創出している。

非農家を取り込んだ活動

政令指定都市において、都市化の進展と耕作放棄地の増加等年々悪化する農業を取り巻く環境の改善と農地の保全をめざして、農業者だけでなく、圧倒的多数の非農家住民をも取り込んだ活動が特色である。

遊休農地を利用した親と子の米づくり

農地保全を主とした土地利用を望む声が多く、子供たちに地域農業を理解させる

目的で遊休農地を利用した米づくりイベントを開催する。今では65aまで作付面積を増やし、参加者は700名を超えた。参加した子供たちは、農業を理解しはじめ、農業者との交流も生まれた。地元小学校の食農教育実践にも役立っている。また、リタイヤした農家のお年寄りが、参加者相手に田植えや稲刈りのノウハウを教え、もう一度農業生産の場で活躍できると元気になっている。

直売所は地域農業の発信基地

協議会員が運営する直売所は地域で知られるようになり、利用するお客さんも増え、朝どりのトマトは人気を博し、この直売所は農産物販売の拠点としてだけでなく、地域の幼稚園児や小学生達が「畑の役割」や「野菜の作り方」を学ぶ校外学習の場としても利用されている。

生活・環境整備面へもアプローチ

アンケート調査や、「金岡まちづくり探検隊」を実施し、地域の文化や自然環境の再発見を行った。また、通学に危険な箇所が確認でき、「金岡南中学校区の安心・安全アップ」がつくられた。さらに、農業理解と地域環境創造のための「米づくり」「コスモス栽培」等各種イベントなど多様な活動が展開されている。



親と子の米づくり



ため池堤体へのコスモスの植栽



金岡まちづくり探検隊の報告図



ため池に隣接する農地